

官民連携推進チームの設立に寄せて

- 明日の日本に向け、日本社会は静かに、かつ大胆に舵を切ったと認識。
- 近い将来、2017年は時代を画した年として記憶され、語られることになる。
- 歴史文化が、地域の持続性に貢献する時代がきた。歴史文化のオリジナリティを説明できることが地域の魅力となり、経済的価値を生む。
- 集落丸山は唯一無二の集落丸山。それぞれの地歴に基づいた集落ホテルを、まず100地区つくる。歴町ホテルを、まず100地区つくる。
- 足許の収益も必要だが、それが主眼ではない。100年後、200年後に持続している、安定した信頼のコミュニティを創ることが目標。
- そのためのインバウンド。地方の末端の集落や町が世界とつながっている、その姿を実現することが、明日の日本の希望になる。
- 200のビークル(中間事業者)、200の修復チーム、200人のランドオペレーター、200人のファンドマネージャー、200人の料理人が必要。その他各分野の職人が必要。
- ツクリビト、集まれ。

▼2017.1.30

	これまで	これから
文化財	保存(活用は限定的)	活用して保存
歴史的建築物	負の遺産(捨てるべきもの)	地域資産(活用すべきもの)
規範	画一・競争・大量消費	多様・包摂・地産地消
視程	刹那を生きる	100年を見晴らす
法制度	規制(改正を重ねて複雑化)	規制+創造(シンプルに再設計)
社会構造	グローバル	創造的過疎